

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称：パレット保育園 大豆戸	種別：児童分野 認可保育園
代表者氏名：宮田 由美	定員（利用人数）：60（69）名
所在地：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町552-1	
TEL：045-438-3149	ホームページ https://p-hoiku.com/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 平成27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 理究	
職員数	常勤職員： 20名 非常勤職員： 3名
専門職員	園長 1名 調理員 2名
	保育士 16名 事務員 2名
	栄養士 2名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	保育室（9） 保育室・事務室・調理室・相談室・更衣室・倉庫・エレベーターなど

③理念・基本方針

ひとりひとりを「大きな家族」の一員として認め、役割を認識させ、愛情を持って育てます。

ひとりひとりの子どもを見極め、発達段階に応じ、「感性・知性・体力を培う」三位一体のバランス保育・教育を信条として育てます。

ひとりひとりが意欲的な生命力を発揮できるよう「自立と自尊と自律」の精神を大切に育てます。

④施設・事業所の特徴的な取組

最寄り駅に菊名駅・新横浜駅という都心部へのアクセスも便利な立地にある住宅街に囲まれた保育園です。近くに様々な公園があり、お天気の良い日はお散歩をしながら遊びに行きます。園舎は2階建てで園庭があります。

安全安心システムとして保育園向けアプリを導入し、家庭との連絡ツールやICカードで入退室ができます。また、毎月避難訓練をおこない、職員は救命救急研修を受け、マニュアルを完備し、安全管理を行っています。

能力開発プログラムでは子どもたちの能力を最大限に伸ばすプログラムとして「コトバの森・パレット学習タイム・運動プログラム・小学校準備プログラム」など取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月20日（契約日） ～ 2022年02月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆園は一人ひとりに寄り添う言葉掛けをおこない、子どもたちは素直に気持ちを表現しています。

職員はまだ上手に話せない乳児の気持ちを察して「トントン、何かお困りですか？」とユーマアを交えて言葉掛けをしながら、子どもの気持ちに寄り添った保育をしています。手を洗いたくないと主張する子どもには「今は手が洗いたくないのね」とまずは思いを受け止め、しばらくして手を洗いはじめたその子に「上手に手を洗っているね！洗えたね！」と共感してその主体性を認めています。椅子に座らない子どもを否定したり、無理強いするのではなく、座っている子どもに「上手に座れてカッコいいね！」と声を掛けるなど、子どもの自発的な行動を促す工夫をしています。このような気持ちに寄り添う言葉掛けによって、子どもたちは素直に自分の気持ちを伝える事ができるようになっていきます。幼児クラスになると保育士はケンカが起きても、お互いの気持ちを伝え合い、自分たちで解決できるよう見守っています。どの年齢の子どもたちも自分の気持ちに素直にのびのびと穏やかに過ごしています。

◆職員の人材育成に力を入れています

法人は年間研修計画を作成しています。また個人別に年間研修計画を作成して、外部研修も含め研修に積極的に参加できるようにしています。研修を受講した職員は報告書を提出し、必要に応じて伝達研修を園内会議の時間におこなっています。園内研修として、保護者対応・支援、褒める言葉、危機管理・緊急時対応、などをおこなっています。法人は実施した研修の評価、分析をおこない、次年度の研修計画に反映しています。

◇改善を求められる点

◆保育所の専門性を活かした子育て支援や地域との連携が期待されます

園は子育て相談や園庭開放、身体測定をおこなっていますが、利用が少ない状態にあります。地域住民の具体的な福祉ニーズを把握し、園の取組を広く地域に発信したり、園の経験豊富な保育士や栄養士などの専門性を活かした講習会を企画することが期待されます。また広くボランティアを募集したり、中等高等学校の職業体験を受け入れるなど、園児の豊かな体験にもつながる活動が増えることが望まれます。

◆更なる保育の質の向上に向けての取組が期待されます

毎日おこなわれる昼礼で各クラスはその日の保育について振り返り、共有しています。また、担任間で1日を振り返り、保育計画の見直しを随時おこなっています。しかし、日案の「保育のねらいに対する子どもの様子」「配慮に対する保育者の気づき」「活動内容に対する言葉掛け、関わり」などについて、気づきの記録がほとんどありません。今後は毎日振り返りを記録し、自己評価を積み重ねて次の週の活動、次の月の指導計画に結びつけていく仕組みができることが望まれます。また各クラスの月間指導計画を園全体で共有する時間を作り、各クラスの子どもの姿、月のねらいなどを園全体で捉えていくことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

パレット保育園・大豆戸は「大きな家族」という理念のもとに子どもたち一人ひとりに生きる力を養っていけるような学びのある日々の生活や園環境を目指しております。

今回第三者評価を受審するにあたり、職員と改めて日頃の保育について、園内環境について話し合い、見つめなおすことができました。

また、客観的な視点から考えたり、振り返ることができ、保育園として質の向上を目指してより一層意欲を高めているところです。

そして一人ひとりに寄り添う保育については今までも、これからも子どもたちの気持ちを受け止め、共感しその主体性を認めていくことを継続して、子どもたちが楽しい毎日が過ごせるよう努力していこうと思います。

さらに今後は保育所の専門性を活かした地域・社会への貢献や連携にも力を入れ、協同となる活動を発信し、更なる発展を目指していきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり